

自社メンテナンス不要のクラウド移行で トータルコストの削減を実現

1937年の創業以来、電子部品の製造を主力事業に、多くのメーカーから支持されているエルナー株式会社様。2009年4月、上場企業に求められる内部統制とセキュリティの確立を目指して、メールシステム「CyberMail」とメールアーカイブシステム「MailBase」を導入。今回、さらなるセキュリティと安定性、また利便性の向上を図るため、オンプレミスのメールシステムからクラウドメールへ切り替えを検討され、最終的に当社のクラウドメールサービス「CYBERMAIL Σ」への移行を決断いただきました。導入までの経緯や導入後の効果など、同社経営企画部システムグループリーダーの丸田陽介氏にお話を伺いました。



経営企画部システムグループリーダー 丸田陽介氏

User Profile

ELNA

エルナー株式会社

<http://www.elna.co.jp/>

本社：神奈川県横浜市港北区新横浜 3-8-11

設立：1937年5月25日

導入前の課題

- ・Linuxの知識がある社員をメールサーバー担当として確保しなければならないこと
- ・バージョンアップなどのメンテナンス作業が大変な労力だった

導入製品



導入後の効果

- ・バージョンアップなどのメンテナンスが必要なくなり全体的なコストが削減できた
- ・極稀にあったメールが届かないという社員からの問い合わせがなくなった

■ 導入背景

大変な労力だったバージョンアップ作業やハードウェアの更新

「CYBERMAIL Σ」への移行前、どのような課題を抱えていたのでしょうか。

従来のCyberMailサーバーがLinuxで動作しており、運用するにはLinuxのコマンドが使える必要があります。1番大きな課題は、Linuxの知識がある社員に限られている中でメールサーバー担当として確保することでした。

また課題ではありませんが、バージョンアップ時に機能追加を検討する業務アプリケーションとは異なり、メールのア

プリケーションは大きな機能追加はありません。その割にはセキュリティ対策のアップデートやバージョンアップの作業に労力が掛かっており、自社でメンテナンスが不要なクラウドへの移行を望む声が多くなっていました。

■ 導入の経緯

連携性や信頼性から「CYBERMAIL Σ」への移行を決定

導入にあたっては社内でのどのような議論があったのでしょうか。

まずクラウドメールへの移行の是非ですが、システムグループ以外の社内の意見も賛成が大半を占めていたので、これ

はほとんど議論もなく決定。次にどの製品を導入するのか、費用や導入方法について議論していきました。

—そうした議論の中、「CYBERMAIL Σ」移行の決断に至った理由は？

従来使用していたメールシステム「CyberMail」の信頼性から、クラウドに移行するのであれば「CYBERMAIL Σ」が良いだろうというもほぼ議論の余地なく決定しました。これまで使い慣れたメールのインターフェース等を変えることで、社員に混乱があっては業務に支障をきたしてしまいますので、それは避けなければなりません。また、メーカーが

異なるクラウドメールとメールアーカイブシステムを利用する場合、連携性や稼働後の運用やメンテナンス性もすべて検証が必要となり、システムグループとして大変な作業だと考えました。

■ 導入の効果

月々のランニングコストは増えたが5年間の総コストは減少へ

一製品の選定にあたって重視したことはどんな点でしょうか。

すべてをクラウドにするのではなく、MailBase については従来のオンプレミスで残すということは早い段階から決めていました。メールデータを過去に遡って一気に取り出す必要が生じることがあり、その際、クラウドではどうしても対応が難しいだろうと考えたからです。また、費用面も重視しました。多少のコストアップは仕方ないとしても、大幅に増えるようでは別の製品も検討が必要になったでしょう。ところが、CyberMail ユーザ向けの特別価格で提供いただいた事も、



「CYBERMAIL Σ」の移行によって、それまでよりもコストは圧縮できることがわかったのです。月々のランニングコストが増えるため、一見すると費用は高くなったように見えますが、バージョンアップ作業やハードウェア更新が不要になるので5年トータルで考えた総コストは減少しています。

■ 導入時のトラブル

想定外の事態にもスクリプトの提供でトラブルを未然に回避

一移行のプロセスでトラブル等はありませんでしたか？ またそれをどう解決したのでしょうか。

サイバーソリューションズから評価環境をお借りして、管理者メニューがオンプレとクラウドで変わる点、海外からのメール操作環境などを徹底的に検証し、事前準備には相当な時間をかけて導入したので、トラブルはありませんでした。クラウド移行後に旧サーバーに届いたメールも取得しなければならないケースがあると、システム切り換え直前になって気づき、それをサイバーソリューションズに相談すると、すぐにスクリプトを作成して対応してくれたのも助かりました。

一移行後、課題は解決できましたか。また、

予想外の改善点などはありましたか。

課題は解決できました。また、移行時には課題とは思っていなかったことも改善されています。オンプレは CyberMail と別会社のメールセキュリティ製品、それにハードウェアと OS を準備して自社でメールシステムを運用しており、メールが届いていないという社員からの問い合わせが何度かありました。しかしクラウド移行から3カ月、まだそうした問い合わせは1件もありません。また、クラウドメールにすることで通信量が増えてレスポンスが悪化するのではという危惧もしていたのですが、以前と変わりませんでした。非常に快適です。

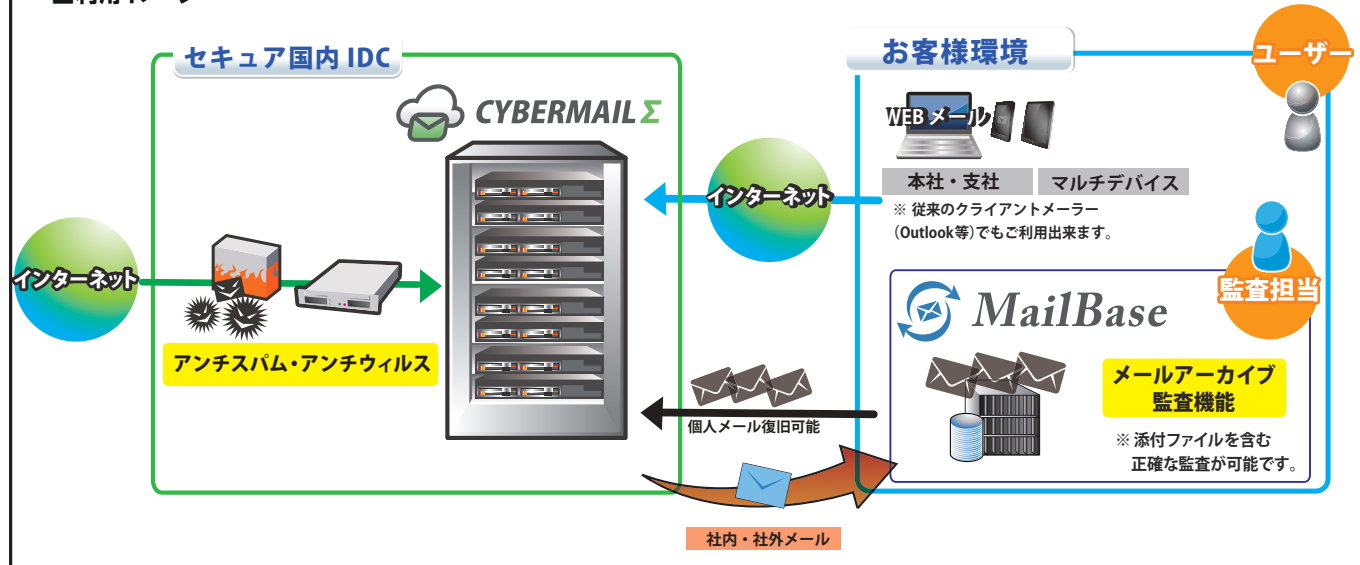
■ 今後への期待

社員からの要望が多い「チャット機能」の追加に今後も期待

一最後に、今後の「CYBERMAIL Σ」への期待や要望などがあればお聞かせください。

社員から要望が多いのはチャット機能の追加です。社内連絡など、グループごとに連絡できるようになれば、相当な効率アップが見込めます。LINE など個人向けソフトではセキュリティが心配なので、CYBERMAIL Σでチャットが使える、チャットもアーカイブできるようになれば、ぜひ導入したいと思います。

■ 利用イメージ



※記載事項は予告なしに変更となる場合があります。

※記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。